

Opera Net Hitachi

オペラネットひたち

2022.3 Vol.19

発行：ひたち市民オペラによるまちづくりの会、公益財団法人日立市民科学文化財団

ひたち市民オペラ25周年記念号

オペラに魅せられ 魅せた25年

音楽文化活動を通じて市民の心が通じ合う、より良いまちづくりを目指し、当会の前身となる「ひたち市民オペラを育てる会」が立ち上がってから25年を迎えます。これまで繰り広げられてきた事業により、オペラの魅力が直接市民に届けられ、オペラ愛好者が増え、かつオペラ舞台にかかわる人材が育まれてきました。

更に、ひたち市民オペラの大きな特徴は、日立シビックセンターを中心としたオペラ事業を当会が全面的に支え、まちづくりに貢献してきたことはいままでもありません。

今回のオペラネットひたちでは、毎年恒例となったニューイヤーオペラコンサートをはじめ、新都市広場で繰り広げられた野外オペラ、将来の活躍が期待できる子どもオペラ学校の開校、市内各地へ出かけ直接市民にオペラを届けたオペラサロンなど、25年間のオペラ事業の数々を振り返り取り上げてみました。



ひたち市民オペラの軌跡

準備年

1993 平成5年

4月 オペラ実施に向けて、オペラ懇談会発足

1994 平成6年

6月 日本オペラ協会総監督・大賀寛氏訪問

8月 作曲家・原嘉壽子氏訪問

12月 ひたち創作オペラストーリー募集開始

1995 平成7年

1月 ひたち市民オペラを育てる会準備会発足

4月 季刊「ひたちオペラ市民」創刊号発行

7月 ひたち創作オペラストーリー募集締切り

9月 ひたち創作オペラストーリー選考委員会において
橋あおい作「水の声」を第一席に選出

10月 ニューイヤーオペラコンサート合唱団募集

1996 平成8年

1月 ニューイヤーオペラコンサート
～オペラの魅力～

5月 「ひたち市民オペラを育てる会」発会式

7月 第1回全国オペラフォーラム

11月 「水の声」のふるさとを訪ねてツアー

1997 平成9年

3月 「第1回全国オペラフォーラムの記録」発行
レクチャーコンサート 作曲家：池辺晋一郎氏による
「オペラお話と歌のひととき」

4月 文化庁「文化のまちづくり事業」指定
ひたちオペラ合唱団発会式

5月 「水の声」オリジナルTシャツデザイン審査会

8月 第1回ひたちオペラサロン
「オペラとクッキーコンサート」(泉が森公民館)

9月 ひたちオペラのまちづくり実行委員会発足

10月 映像によるドラマティックオペラコンサート「夕鶴」
「ひたち市民オペラを育てる会会員だより」
創刊号発行

オペラ事業のはじまり

「ひたちの春音楽祭」という事業があり、その推進委員の皆さんが、広場でアイディアやりたいね!と日立シビックセンターの一階レストランで飲みながら夢を語り合ったことがきっかけでオペラ事業がはじまりました。(Y.O)

ニューイヤーオペラコンサート(第1回)



第1回オペラフォーラム



歌って、食べて、コーヒードリンク

ひたちオリジナルオペラ「水の声」公演に向けて、「市民のオペラに対する関心を高めよう」「一人でも多くの人にオペラ活動に触れる機会を増やそう」と手探りしながら、「人と人との出会いと交流」の場をつくるため、第1回ひたちオペラサロンを開催いたしました。

(ひたちオペラ市民第11号より)

第7回ひたちオペラサロン(99年)
水の声Tシャツを着たPRチーム



オペラ事業のはじまり～ひたち創作オペラ 歌劇「水の声」上演まで

1998 平成10年

3月 「水の声」作曲依頼

7月 第3回全国オペラフォーラム
オペラ市民 夢トーク'98
～オペラ「水の声」台本完成を祝う～
(講師:原嘉壽子氏・佐藤克明氏)

10月 オペラ制作講座開講(講師:佐藤克明氏)

1999 平成11年

1月 第4回ニューイヤーオペラコンサート
「フィガロの結婚」公演(日立市民会館)

3月 ひたちオペラ合唱団演奏会

4月 日立市制60周年記念事業
第38回日立さくらまつり参加

6月 「水の声」出演者オーディション

8月 オペラ制作講座成果発表公演ミニオペラ
「ある町の小さなフィガロ」公演
第7回ひたちオペラサロン
「オペラとクッキーコンサート」(多賀市民会館)

2000 平成12年

1月 日立市制60周年記念事業
第5回ニューイヤーオペラコンサート
歌劇「水の声」公演(日立市民会館)

オペラ制作講座とは

地域の人材を核としてオペラやミュージカルの分野で質の高い舞台創りを実現すること、オペラがまちづくりの要となっていく環境形成を目指し、日立シビックセンターにて開講。

(ひたちオペラ市民第19号より)

オペラ制作講座成果発表公演



ひたちオペラ合唱団演奏会



歌劇「水の声」公演



歌劇「水の声」一魅せた!感動!

日立市がまちづくりの一環として、公募を含め構想から7年を経て、創作オペラとして練りにねって原作者、台本作家、作曲家そして演出家のそれぞれの思いが爆発した舞台となった。オペラの真髄を肌で感じてもらうとスタッフ全員が力を合わせ、市内の各地域でミニコンサートを重ねてきた集大成の発表の場ともなった。

(ひたちオペラ市民第20号より)

2000 平成12年

7月 オペラ制作講座
～みんなで創る夢舞台・入門編と実践編～開講

2001 平成13年

1月 日立シビックセンターオープン10周年記念事業
第6回ニューイヤーオペラコンサート
歌劇「水の声」ハイライト&オペラ「椿姫」ハイライト公演
4月 映像によるドラマティックオペラコンサート パートV
「トゥーランドット」
8月 ひたち野外オペラ第1回公演
歌劇「トゥーランドット」(日立新都市広場)



9月 ひたち野外オペラ「トゥーランドット」写真展

2002 平成14年

3月 歌劇「トゥーランドット」ビデオ完成記念会

2003 平成15年

4月 「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」発会
7月 ひたちオペラ合唱団独立後の第1回自主公演を応援

2004 平成16年

2月 合唱講座「イタリア語でオペラの合唱曲を歌おう」
(全6回)
6月 ひたちオペラまちづくり大学開講(講座編全7回)
講座編実施後、野外オペラに向けて実践編開始

オペラ制作の目的

いろいろな方に様々なプロと関わっていただき、公演が終わったら、各団体にオペラで得た技術や知識を持ち帰ってもらい、各団体の文化レベルを高め、引いては町の文化レベルを高めることにありました。(Y.O)

みんなでやることはきっと面白い

20年前、野外オペラ実行委員だったMさんが来て言ったのだ。日立で初めて野外オペラをやる、手伝って欲しい。そのオペラって面白いんですか、との私の問いに彼はこう答えた。面白くない。まだ面白さがわからない。でもみんなでやる事はきっと面白い。私は答えた。分かりました。私にできることであれば協力します。その時のMさんの笑顔を、私は今も忘れない。(I.T)



日本初《トゥーランドット》野外オペラ公演

「誰も寝てはならぬ」ワンフレーズしか知らない素人とプロの協力で野外オペラ公演という挑戦でした。「オペラ制作講座」を修了した有志の一員としてこの企画・制作に参加しました。舞台、大道具小道具、衣裳、もてなしなどを担うチーム編成をしました。オーケストラ、合唱、子役などの人集めには苦労しました。素人に来ることは限られますが、初めてばかりで貴重な体験でした。(K.I)

裏方スタッフとしての想い

20年前当会に参加し、市内各所で映像とお話でPR活動を始めました。初めての野外オペラでは煌びやかな衣裳そして歌と踊りに目を見張るばかりでした。雰囲気や壊さないように会場の案内と整理を行いました。「アンコール」の声と大きな拍手がいつまでも鳴りやまなかった光景と感動は、今でも忘れられません。(E.F)

2005 平成17年

1月 第10回ニューイヤーオペラコンサート
～ひたち市民オペラ10年の精華～
8月 ひたち野外オペラ第2回公演
オペラ「カルメン」(日立新都市広場)

《カルメン》への市民参加

このオペラで特に印象深かったのは、町の女や酒場の女給たちを演じた若きバレリーナ達の踊り。さらに、たばこ工場の衛兵たちを真似た児童合唱団扮する町の子どもの合唱と行進からは、国民文化祭を意識した日立の本格的野外オペラの幕開けを感じることができた。(B.N)



2006 平成18年

3月 国民文化祭のための第1回
“ひたち市民オペラによるまちづくりの会
オペラ制作部会”開催
10月 「第1回子どもオペラ学校」開校式

一期生として

子どもオペラ学校のみんで歌って演技したり、プロの歌手の方と共演したり、丁寧なご指導を受けたり、自分たちで造ったり…。とにかくたくさんの貴重な経験を出来たことが今の私の糧になっています。全ての思い出が宝物です。(N.T)

2007 平成19年

3月 第1回子どもオペラ学校成果発表公演
オペラ「ヘンゼルとグレーテル」(抜粋)



2008 平成20年

11月 第23回国民文化祭・いばらき2008
天空に高鳴る祝祭の響き！
ひたち野外オペラ第3回公演
オペラ「アイダ」(日立新都市広場)



《アイダ》道具制作チーム

地元の方々の協力

ひたち野外オペラにおける大道具小道具チームは日立市地元の方々の協力なしでは成立しませんでした。大量の道具を製作するために人手が必要ですし、材料を調達するためにも不可欠なものでした。小道具やセットで材料となる竹を必要とするときに、竹林を所有するかたに事情を説明し協力していただき立派な竹を調達しましたが、その後その竹林の竹は帝国ホテルの飾りつけにも使用している竹と知り驚いた思い出もありました。日立の皆様大変お世話になりました。(N.M)

ひたち市民オペラの軌跡

2009 平成21年

8月 映像によるドラマティックオペラコンサート パートXIII
ひたち野外オペラ「アイダ」

2010 平成22年

6月 レクチャーコンサート
「オペラの序曲と間奏曲を尋ねて」
～臼井英男オペラの楽しみを語る～

2011 平成23年

1月 日立シビックセンターが
「地域創造大賞【総務大臣賞】」受賞
当会と「公益財団法人日立市民科学文化財団」の
協働と、「市民オペラ」のネットワークにより地域の
文化力を向上させたことが評価された。

2012 平成24年

11月 第33回ひたちオペラサロン(日立シビックセンター)

2013 平成25年

2月 第14回オペラフォーラム
5月 野外オペラ開催のための企画実行委員会開催

2014 平成26年

2月 オペラミニコンサート&子どもオペラワークショップ
(大久保小学校)
5月 第7回子どもオペラ学校 道具製作ワークショップ
オペラ制作講座開講(全7回)
講座終了後、ひたち野外オペラ
《マクベス》プロジェクトとして活動開始

2015 平成27年

8月 日立シビックセンター開館25周年記念事業
ひたち野外オペラ第4回公演
《マクベス》(日立新都市広場)

衣装チーム舞台裏の奮闘

衣装着替えの手伝いもしたのだが、舞台に乗る方々も緊張しただろうし、我々衣装部もドキドキであった。早着替えがちゃんとできるか、途中で衣装が崩れないかと、舞台裏で針と糸を持って動き回っていた。フィナーレの後は終わった！やったあ！と仲間と一緒に喜びを分かち合った。多少の疲労もあったと思うが達成感の方が勝っていた。会場を後にする時にはたくさんの元気を衣装たちからもらっていた。舞台に乗る側も観る側もいいが私には舞台裏はもっと面白いのである。(K.O)



野外オペラと空模様

おびたしい数の人たちが表舞台・裏舞台で協力して生み出される総合芸術がオペラ...それを野外でやろうと言うのだから凄い！しかし野外オペラほど怖いものはない。何が怖いと言うと空模様だ。雨が降ったらオシャカなのだ。日程が決まった日から晴れ乞いのために悪いことが出来なくなった。(T.H)



ひたち野外オペラ《マクベス》～現在

2016 平成28年

4月 子どもオペラ学校 道具製作ワークショップ(全3回)
12月 ニューイヤーオペラコンサート写真展

2017 平成29年

2月 「第9回子どもオペラ学校」開校式
7月 子どもオペラ学校ギャラリー展
第9回子どもオペラ学校成果発表公演 オペラ《魔笛》



2018 平成30年

8月 はじめてのオペラ体験in児童クラブ体験
(大久保小学校ほか)
12月 イルミネーションオペラコンサート
(「はじめてのオペラ体験」受講生と子どもオペラ学校
OGとニューイヤーオペラソリストの共演)



2019 平成31年(令和元年)

10月 うたとお話で綴るオペラコンサートVI ～ワイン編～
11月 うたとお話で綴るオペラコンサートVII
～料理とオペラ編～
12月 ひたちオペラの日 Rassembler

2020 令和2年

1月 日立市制80周年記念事業
第22回ニューイヤーオペラコンサート
9月～11月 ニューイヤーオペラコンサート
アーカイブ放送(ケーブルテレビJWAY)

魅せる空間の美

オペラ衣装展は、過去の野外オペラ公演から《カルメン》、《アイダ》、《マクベス》の厳選した衣装を21体の人形に着せ、大道具や小道具も添えて開催へ向けて展示しました。ホールの高さや高さを利用した大胆なレイアウト、照明、音響にもホールの特徴が生かされ、「魅せる空間の美」が生まれました。衣装は豪華なものだけでなく、素朴なものも味わいがあり訴えてくるものがあります。それこそオペラの1シーンであり、その積み重ねがひたち野外オペラの軌跡です。たくさんの方々に生で見ていただきたかった。(K.I)

2021 令和3年

1月 オペラ衣装展～ひたち市民オペラセレクション～
新型コロナウイルス感染症により中止
2/9～2/14 衣装の一部を日立市役所及び
日立駅情報交流プラザへ展示
2/28より YouTubeにて公開中
7月 涼風ガラコンサート～日本の歌とオペラ名曲選～



ひたち市民オペラ25周年記念公演

歌劇《トゥーランドット》
ハイライト&オペラガラコンサート
開催決定!!

2022年9月19日(月)祝 開演14:00(予定)

会場 日立市民会館

ひたち市民オペラの活動25周年を記念して、これまで開催してきた公演の中から《カルメン》、《アイダ》、《マクベス》の3演目をガラコンサートで、2001年に開催した初回野外オペラ公演の《トゥーランドット》をハイライトでお贈りいたします。

第一部：歌劇《カルメン》、《マクベス》、《アイダ》のガラコンサート

《カルメン》より「闘牛士の歌」
《アイダ》より「清きアイダ」
《マクベス》よりバレエ音楽 ほか

第二部：歌劇《トゥーランドット》
全3幕ハイライト

指揮(兼音楽監督)：松下京介
演出：八木清市



©BANAZO



©TAKUMI JUN



出演

【第一部 ガラコンサート】

ソプラノ：岡部恵美子、薄井美伽 メゾソプラノ：大津香津子 テノール：相山潤平
バリトン：小野寺光 バレエ：日立市洋舞踊協会 ほか

【第二部 《トゥーランドット》ハイライト】

トゥーランドット：野田ヒロ子 カラフ：芹澤佳通 リュウ：中畑有美子
皇帝：相山潤平 ティムール：小野寺光 ほか

合唱：ひたちオペラ合唱団 ほか
※合唱に参加されたい方はお問い合わせください。

管弦楽：日立交響楽団

主催：公益財団法人日立市民科学文化財団／ひたち市民オペラによるまちづくりの会

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください

〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター 「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」事務局まで
TEL:0294-24-7755 FAX:0294-24-7979